



2023年度

看護部教育新聞 秋号



第35号
2023年11月
看護部
教育専従

看護部長便り ~A letter from Ozawatti~



「立入検査」と「適時調査」

この秋は「立入検査」と「適時調査」が続けてやってきました。「立入検査」とは、**医療法**に基づく設備維持を目的とするもので、安全管理体制や感染対策等の確認が行われます。一方の「適時調査」は、診療報酬支払に関わる種々な**施設基準**の届出に対し、要件にのっとって実施されているか否かを確認する調査で、地方厚生局長（厚労省）が行います。簡単に言うと、どちらも「決められたことをやっていますか？」という調査です。特に適時調査は、「病院の収入源」になっている多くの項目を調査し、要件を満たしていなければ「できていませんね。（究極）お金を返してください」ということになります。



さて、病院の収入源の多くは「入院基本料」ですが、次の5つができていなければ入院基本料を算定することができません。その5つとは、①入院診療計画、②院内感染防止対策、③医療安全管理体制、④褥瘡対策、⑤栄養管理体制です。‘個別性のある入院診療計画書を書きましょう’と言われていたと思いますが、その人に合わせたケアを行っていくことはもちろん、病院収入に影響することも頭に入れて対応してくださいね。

小澤

看護部職員の皆さんが学会で発表しました【第1弾】

看護部では今年度、多くの職員が学会で研究発表を行いました。そこで、発表者の方たちに学会発表への意気込みや今後の活動についてインタビューをしてきました。



第31回日本慢性期医療学会(大阪) 10月19日(木)20日(金)

2階東病棟看護師天野純さん
テーマ「パーキンソン病患者の歩行中の方向転換にメトロノームによる聴覚刺激が与える効果」

まだ患者さまの日常生活動作では実践していないので早く導入していきたいと思います。



2階東病棟看護師山本千恵子さん
テーマ「粘度調整食品の使用が経管栄養患者の便性状に及ぼす影響」

これからもREF-P1を使用して患者さまの便性状を改善していきたいと思います。



4階東病棟看護師井関菊代さん
介護福祉土木屋貴思さん
テーマ「介護医療院開設に伴うミトン廃止への取り組み～ストレス減に向けた代替え手袋の改良～」



土木屋さん：工夫手袋を学会に持っていき参加者に見せることで良い反応が得られたことが嬉しかった。

井関さん：工夫手袋の使用について身体抑制委員会を通して院内での使用を広めていけるよう活動したい。

3階西病棟看護師の伊東亜希子さん
テーマ「鶴巻版体圧分散マットレス選定フローチャート」
導入と効果の検討～新規褥瘡発生ゼロを目指して～



病棟職員が褥瘡が発生しないよう意識して取り組むことができたことで褥瘡患者が減って良かった。マットレス選定フローチャートを作成し全病棟で使用されているが病棟機能に合わせて引き続きブラッシュアップしていきたい。

NPO法人日本リハビリテーション看護学会第35回学術大会 WEB開催 11月20日～12月20日

3階西病棟看護師桑久保沙希さん
テーマ「回復期リハビリテーション病棟における看護・介護職員のマスク越しの笑顔の見え方」

マスクをしていても笑顔を大切にしたい。研究を通して思考することや意味づけする大切さを学ぶことができた。



4階南病棟看護師内田絢人さん
テーマ「回復期リハビリテーション病棟における内服管理フローシートの運用と効果を検討する～看護師による内服管理と標準化を目指して～」

研究を通してフローシートの有用性がわかったので今後使用件数を増やして改善していきたい。



第44回日本死の臨床研究会(愛媛) 11月25日(土) 26日(日)

2階東病棟看護師伊巻洋平さん
テーマ「医療療養病棟での人生の最終段階における医療へ移行する看護師、介護福祉士の判断」

初めての学会発表なので緊張していますが頑張ります！



セコム提携病院神奈川ブロック人事交流研修 受講者インタビュー

～西横浜国際総合病院

介護科副主任の高信美和さん～

私は回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。今回の研修で、鶴巻温泉病院の回復期における介護福祉士の役割や教育体制について学びを自部署に還元したいと思いました。特に印象に残ったことは「新人職員に対する研修内容が手厚く、病院全体で熱心に教育していること」です。西横浜国際総合病院の研修でも取り入れていきたいと思いました。

～2階東病棟 看護副主任 鈴木達也さん～

横浜新緑総合病院に3日間研修へ参加しました。研修を通して病棟スタッフが入院時から退院に向けて意識を持ち行動していたことに感銘を受け、ぜひ見習っていきたいと思いました。また、一般病棟を見学した際はPNSにおけるグループ活動の運営方法について学ぶことができたため病棟で活かしていきたいです。



人事交流研修は新しい視点を知ることや組織文化を学べる研修です。